

R・B・K EYE

VOL. 247

2022 MARCH

編集責任 飯嶋 薫

1. ダミアン・ハーストの桜

3月2日から5月23日まで国立新美術館で「ダミアン・ハースト 桜」展が開催され好評です。主催は国立新美術館とカルティエ現代美術財団です。カルティエ現代美術財団は世界の企業メセナに一石を投じ、アーティスト達の創作の場を作り、市民とアートの出会いとなる場の空間を提供しながら現代アートの創作活動の促進および社会普及に努めて、企業理念を実践しています。同財団主催の2021年7月に「横尾忠則 The Artists」の開催は記憶に新しい展覧会でした。パンデミック3年目、しかもロシアのウクライナ侵攻といった不安で陰鬱な時代に、見た人々に夢と希望の光を与える「ダミアン・ハースト 桜」展が開催されたことは意義あるイベントとなっています。この展覧会は2021年パリで開催され高い評価を受けていました。桜は日本を象徴する花であり古代からの桜の美学に敬意を払っていたカルティエ現代美術財団が「ダミアン・ハースト」の日本向けに選定した24の作品を準備し、開催の運びになったとのことでした。パリの友人から日本で開催されたら是非、見るようにと勧められ、東京の桜開花日に合わせ行ってきました。会場へ入り先ず、びっくりしたのはその作品の巨大さでした。作品名「儂い桜」305 cm×244 cmから最大の作品「この桜より大きな愛はない」549 cm×732 cmまで全作品が等身大の大きさで、まるで桜の園で見上げる感覚に陥ります。抽象画でもなく具象画でもなく、何れも快晴の空を背景にして満開に咲き誇るそれぞれのテーマの桜を見ると不思議な感覚になりますが、全ての作品に心が癒されました。この感覚は一体何だろうと思いつつ別室に行くと、「ダミアン・ハースト」とカルティエ現代美術財団のドキュメンタリーフィルムがあり、その謎が解けました。ダミアン・ハーストが桜を描き始めると、キャンバスに実際の桜の木が見えはじめ、それに「没入」すると等身大の作品となっていたとのコメントがありました。また、同氏は「見て頂く人々に『没入感』を感じて作品に入り込んで貰える作品作りが自分のコンセプトです」と語っていました。

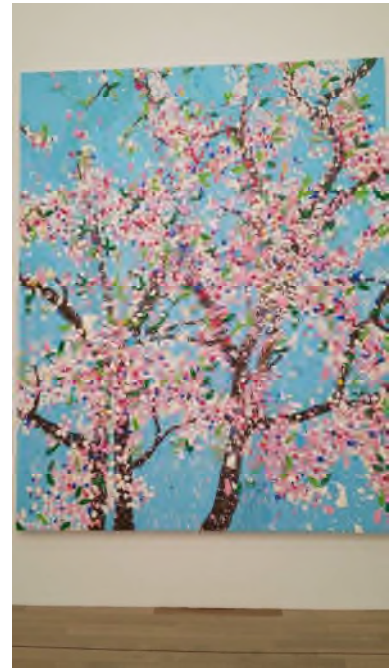
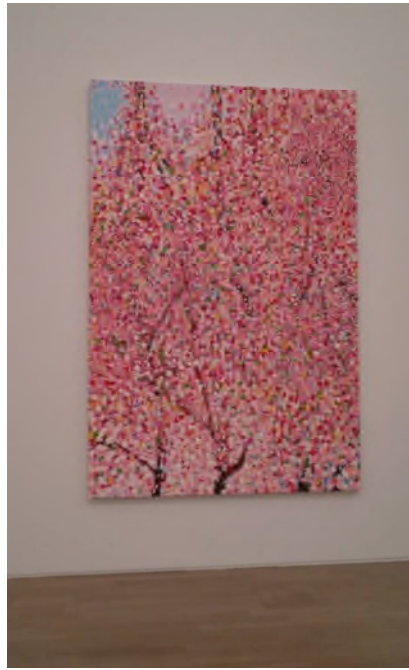
世界の平和が脅かされている今、作品名「生命の桜」「大切な時間の桜」「素晴らしい世界の桜」等のテーマと作品を見ているだけで平和と希望と元気を願う気持ちで一杯になりました。

見学の後は開花したばかりの六本木ミッドタウンパークから青山墓地のお花見へ行きましたら、「ダミアン・ハースト」の桜と重なって夢心地の素敵な時間となりました。

桜を通して東京から世界へ文化発信を続けるカルティエ現代美術財団にリスペクトです。

「桜のシリーズは美と生と死についての作品なんだ。」

— ダミアン・ハースト



2. メディテーションに注目、三菱地所のスタジオ

「メディーチャ」や、アプリ「ラッセルミー」が人気に

オーバーストアと言われ続けてきた中に押し寄せたコロナ禍の波で、商業施設やオフィスなどで求められるニーズが変化しています。

近年、心身ともに健康であることを目指すウェルネスや、人として良く生きることも含んだウェルビーイングの重要性がますます高まり、スポーツジムやヨガ、ピラティスなどのスタジオが増えてきていました。

さらに、新しい空間やコンテンツとして注目を集めているのが、“メディテーション”（瞑想）のスタジオや関連ビジネスです。

アップル創業者のスティーブ・ジョブズが禅やメディテーションを行っていたことはよく知られています。Googleやアマゾン、インテル、ナイキなど、メディテーションを企業の福利厚生や研修などのプログラムに取り入れている企業も増えていきます。

情報があふれる一方で、VUCA（不確実性）の時代といわれる先行き不透明な時代に、不安を感じたり、疲弊したりしている人々も多くいます。コロナ禍でのリモートワークや外出自粛などにより、メンタル不調を感じている人も少なくありません。そういった状態を一度リセットして、心を穏やかに落ち着かせて、自分を取り戻したり、自己肯定をしたり、自分のあるべき姿を思い描いたりする時間はとても貴重な時間や体験になります。

その手助けをするのが、メディテーションやマインドフルネスであり、自宅で行ったり、スタジオに通うなど、日常生活に取り入れられるようになってきています。

そんなメディテーションのレッスンを気軽に受けられる場所として、三菱地所が東京・南青山で手がける没入体験型メディテーションスタジオ「Medicha（メディーチャ）」が注目を集めています。同社の新規事業提案制度の中から生まれたもので、2019年6月にオープン。「自分に余白をつくる贅沢（ぜいたく）な時間」をコンセプトに、アートと煎茶文化を融合したプログラムを提供しています。

コロナで一時は苦戦したものの、今では個人利用だけでなく、法人利用も増えており、アフターコロナのビジネスチャンスを感じさせられるものになっています。

一方、事業主の野村不動産の下、Salt Group がビル一棟を丸ごとトータルプロデュースした「EAT PLAY WORKS」でも、メディテーションのレッスンを提供しています。“食べて 遊んで 仕事して”をコンセプトに、2020年7月にオープンしたこの館では、ライフスタイルとワークスタイルの融合を提案。東京メトロの広尾駅そばの建物で、1、2階を“ミシュラン・カジュアル”をテーマに星付きレストランを横丁形式で配した飲食フロア、3、4階をコワーキングやオフィス入居者などのメンバーズラウンジ、5、6階をオフィスフロアとしています。

この4階ラウンジの一角や屋上テラスを活用し、ヨガやメディテーションのレッスンを開催しています。注目はティーチャーのニーマル・ラージ・ギャワリ氏です。SUWARU を設立して、現代人に合ったメディテーションやマインドフルネスの多数の手法・ビジネスパーソン向けのニーマルメソッドを提供しているのですが、ネパール出身で、祖父が設立した王立院で王族や政府要人らにも指導。日本に2003年に来日以来、100人以上のヨガ&メディテーションティーチャーを輩出した教育者でもあります。

良いメンターと出会えるのも、スタジオやレッスンの魅力になり、リアル店舗やリアル体験の存在意義にもつながってきます。

逆に、自宅でメディテーションができるアプリなども開発されています。その一つが、瞑想アプリ RussellME（ラッセル・ミー）です。

「オリジナルで愛おしい人生の実現をサポートする『メンタリング瞑想アプリ』」をコンセプトに、専門家による医学的見地に基づいた瞑想プログラムをレベル別、シチュエーション別に提供する他、関連記事のコンテンツ配信を行っています。ラッセルが取り扱うメディテーションチェアと共に、2020年度グッドデザイン賞を受賞したことでも知られています。

この仕掛け人の一人が、エイベックス・グループ・ホールディングス（現・エイベックス株式会社）で代表取締役副社長 CSO を務めていた千葉龍平氏です。発表資料などによると、エイベックス・インターナショナル・インク副会長時代にアメリカに居を構える中で、ハーバード大学やマサチューセッツ大学で医療行為として開発され、グーグルやアマゾン等の企業が取り入れている脳科学に基づいた非宗教的技術である瞑想=マインドフルネスに出会ったとのこと。

アメリカでは2022年に2,000億円の市場規模になると言われているマインドフルネスにどっぷりはまり、ノーベル文学賞をとったバートランド・ラッセル等の著書を読破。エイベックスを離れ、高い志に基づいてラッセル・マインドフルネス・エンターテインメントをアメリカで立ち上げることになったのです。

エイベックスの立役者だった小室哲哉氏も、問題を抱えて引退していたときに、千葉氏からマインドフルネスやメディテーションを進められ、自分を見つめ、さまざまな気付きがあったといい、初の瞑想音楽制作にも挑戦。マインドフルネスとエンターテインメントを掛け合わせ、自己実現をサポートするコンテンツとして、オリジナル楽曲「聴く瞑想」（月額300円）を提供したりもしています。

なお、ラッセル・マインドフルネス・エンターテインメント・ジャパンは、アプリやメディテーションチェアその他、企業向けセミナーも実施しています。

メディテーションやマインドフルネスはB to B、B to Cともに今後成長することが期待されそうです。

<レストラン情報>

1. 日本生産者食堂「KABEAT」

昔ながらの文化を受け継ぐ街「日本橋兜町」、最近は様々なジャンルの若手クリエイターが集い、新旧融合の活性化プロジェクトに取り組んでいます。そこに新しく去年の8月にオープンした複合ビルの「KABUTO ONE」。この新たなランドマークに去年の12月6日に3つのレストランがオープンしました。その1つが新しい食堂の形「KABEAT」、コンセプトは「生産者を応援する食堂」です。ガラス張りの入り口から1歩足を踏み入ると天井高が十分ある200坪の大空間にカウンター席がずらっと並んでいます。上を見上げると大きなスクリーンに生産者が野菜やお米を収穫する様子が映し出されています。老舗やこだわりを持つ生産者達の食材を使い、6名の若手人気シェフ監修のもと、それぞれのジャンルの料理をアップデートして提案していくという手法。仕入れる食材は季節ごとに変えていきメニューも進化させていきます。メニューにはシェフごとの料理が並んでいて自由に色々組み合わせさせてオーダー出来ます。オーダーもまずバーコードを読み取り、携帯からオーダーするという今どきのやり方。料理は独創性に富んでいてそこそこの味。サービスはかなり低レベルで今後大いに改善の余地ありますが、この広々とした空間でアペリティフを楽しんだり、親しい友人と軽く食事をしたりするには最適な場所です。

お値段は軽く飲んで、色々つまんで1人5000円～。

東京都中央区日本橋兜町7番1号 KABUTO ONE 1F TEL:050-3200-0557

営業時間：月～金 11:00～22:30 土 11:00～21:00 <https://kabeat.jp/>



2. ロンハーマンカフェ二子玉川店

二子玉川ロンハーマンの3階にある「ロンハーマンカフェ」は常に満席。温かみのある店内はベビーカーも通れる広い通路、大きな窓から燦々と降り注ぐ光、まるでカリフォルニアにいるような気分。ソファ席もあり、お子さんを遊ばせながらママ達が楽しそうにおしゃべりしているのも良い光景です。お店全体の雰囲気反映されていて、ゆるく流れる時間の中でゆったりとした時間が楽しめます。世の中落ち着かない昨今、こういった場所でリラックスしてゆっくりランチを楽しむのは至福の時です。料理は典型的なアメリカン、野菜たっぷりのサンドイッチや、彩り鮮やかなサラダ、チキンなどすべてがヘルシーで美味しいです。広々としたテラス席もあるのでこれからの季節に

おすすめです。二子玉川リサーチの際には是非立ち寄りたいランチスポットです。ランチは¥1500位～。常に待つので、まずお店に着いたら、カフェに名前を残し、それから待ち時間にお店散策がおすすめです。

東京都世田谷区玉川4-1-25

TEL:03-6757-2068

営業時間：10:00～21:00 不定休



今月のPATROL

世界のトップレベルを誇る日本の接客やサービス。そのリアルな現場を年間1300店以上見ている調査員がパトロール！時代が変化しても引継いでいきたい「おもてなし」を、調査結果と共に発信していきます。

スマホの乗り換え検討中
来店した理由があるにもかかわらず・・・



SHOP DATA>>> au Style KICHIJOJI 丸井吉祥寺店

住所：東京都武蔵野市吉祥寺南町1-7-1

関連URL：[au Style KICHIJOJI \(kddi.com\)](http://au Style KICHIJOJI (kddi.com))

おもてなし評価

総合

40点



挨拶



笑顔



パーソナルな対応



再来店したいか



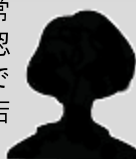
猜疑心の強い自分もそろそろ思っていた格安スマホ。
by 調査員 A.I

安いことには理由があって何か落とし穴があると思ひ、手を出さずにいた格安スマホ。とっていたら周りに続々と乗り換える人が増えてきて、そろそろ真剣に考えてみようと思ひ話を聞きに行った。CMやパンフレットにある内容だけではわからないことや、メリットがあるのか等、きちんと話は聞けるのだろうか。自分が普段利用しているauで取り扱っているのが、UQモバイル。こちらのお店でもポスターやパンフレットが置いてあるので入ってみた。

Point!

R・B・K調査隊長よりヒトコト！

3月は決済月。新生活応援セール等、家電、携帯等販売強化を行っている販売が目につく。今は何でもネット検索が日常になってはいるが、不安や心配事の確認はしたい。その手段として対面や電話で直接話を聞きたいと思ってしまう。来店されるお客様の思ひを察してほしい。



従来のショップとは違って気軽に
入りやすかったが。

間口が広くゆったりしたレイアウトの店内は、目的がなくても気軽に入りやすく見やすい。今時なシンプルでスタイリッシュな店装も魅力かもしれない。UQ mobileのパンフレットを見ていると、待機しているスタッフがしばらくして声をかけてきたが、あまり積極的ではなかった。「何かございましたらご説明します」。最近は積極的に声をかけて接客することを嫌うディベロッパーも多いと聞かすが、それにしても**味気ない**。普段の私だったらここで話を聞くのはすぐにやめていたと思う。今回のことは、本当に話を聞きたいことだったので、仕方なく乗り換えを考えていることを伝えた。



客が知りたいことだけに
答えるのは接客？！

パンフレットには価格のプランが大きく載っている。赤字でさらに安い価格も。「安いんですね」と私、すると「それぞれのプランでこの料金です」と答える。「下の段の更に安いプランは何？」、「条件を満たすとこの料金になります」「・・・」私は本当に絶句。「条件とは？」と聞き返す。終始このような応対で「auユーザーなら他社よりもメリットはある？」、「auのポイントは失効されるの」、「料金負担を少なくする切り替えタイミングは」などなど**知りたいことは全部こちらから聞くこと**になった。



ネット申し込みも可能。
だからこそ今の対面接客の重要性は

実は少し前に格安スマホにかえよう決めていた。それは充電ケーブルを買いにある家電量販店で受けた接客だった。種類が多く違いも分からず困っていたところに声をかけてきたスタッフは、**分かりやすい言葉や事例で説明**してくれた。色々知ることができ満足して購入すると、帰りがけに「今よろしいですか」と改めて声をかけ格安スマホの案内をした。その人は通信会社派遣のスタッフで、**わかりやすい説明を自ら行い、質問にもきちんと答えてくれた**。できるだけ不安を解消して決めたいと思う。